

- 2019年3月15日(金)GCWC NISSANウーマンズアート展
- GCWCより寄付の依頼を受けレセプションへ軽食の差し入れ
- 毎月第一週火曜 GCWC(ゴムカウンスルウーマンズクラブ)
- 日本人会女性会員への支援のため参加。主に各団体のイベント紹介、イベントへの寄付など日本人会を通じて参加の呼びかけや発信をいたしました。

商工部 部長 渡邊 大輔

本年度の商工部は日本人会会員の皆様にも少しでも有意義な企業活動の情報を提供できるよう努めて参りました。2018年度の担当は渡邊、中根理事で下記の活動を報告させていただきます。

[座談会 ダイビング業界編]

2018年7月12日

日本人会商工部の取り組みとして始めております座談会でございますが今回はダイビング業界編としてゴムで活躍されているダイブショップの皆様にお話をお伺いさせていただきました。貴重な経験談やアドバイスなど盛りだくさんの内容でございました。ラッテ紙面にて一部をご紹介させていただき全文は日本人会ホームページをご参照の程宜しくお願い致します。

[税務アップデートセミナー]

2018年10月5日(金)

講師に小林高人様 (Director of Japanese Services Group, Deloitte & Touche LLP – Guam and Micronesia) 池端 華代様 (Japanese Services Group, Deloitte & Touche LLP – Guam and Micronesia) をお迎えしました。

前半では2017年米国税制改正の中で特にゴムの会社に影響がありそうなトピックを解説頂きました。また米国での税制改正内容を受け、ゴムにおけるDepartment of Revenue and Tax (DRT) の動向や税制の変更など、税を取り巻く一般的な環境について紹介して頂きました。後半はゴムにおけるGRTや給与税など、ゴムの会社が要求されている様々な申告書類について、DRTとの経験上実際によくあるケースなども交え、より実務に即した内容をご紹介頂きました。今年度の参加者は27名でした。大変わかりやすかったと参加者の皆様から好評をいただきました。

[ゴム労働局によるセミナー]

2019年2月19日 (火)

ゴム労働局より講師Mr. JEFFREY J.D. SABLANを招きセミナー開催させていただきました。このセミナーは地方自治体と連邦の両方で義務付けられる法律に重点を置いてゴムで業務を行う民間企業の教育を対象としています。今回の内容には雇用機会均等に違反した場合の罰則についても含まれておりゴムで事業を行う民間企業に貴重な情報になったと存じます。またゴム労働局から直接のメッセージを聞ける良い機会であったと存じます。

青年部 部長 吉野 文秋

昨年第39回目を迎えた日本人会秋祭りは、5月には秋祭りの開催準備のため実行委員会を立ち上げました。委員会のメンバーは日本人会関口会長を筆頭に青年部3名、日本人会各理事・監事17名、事務局2名に飯塚相談役と経験豊かな3人のアドバイザーを加え、総勢24名で結成されました。

秋祭り実行委員会組織は、総括の本部と12の部門で構成されます。

*申請担当：公園局、警察署、保健局、消防本部、税務局等の政府機関との折衝や許可の取得。

*スポンサー担当：協賛金依頼の分担、主な企業への訪問、協賛金の取り纏め。

*チケット担当：チケット14万枚の発注、チケット仕訳と祭り当日チケットの販売。

*ドリンク担当：各ドリンク企業への訪問・協賛依頼、氷の手配、祭り当日の氷の補充。

*食品担当：食品ブース18社(25,000食)の取り纏め。

*物販・ゲーム担当：金魚、日本から仕入れたオモチャ・ゲームの準備と取り纏め。

*進行・内外部団体担当：日本からの演舞者と神輿の担ぎ手の手配。当日の盆踊り、神輿、演舞などすべての演目のスケジュール管理と調整。

*設営担当：設営会社との折衝、椅子360脚、テーブル100卓の手配、仮設トイレ、ごみ箱や会場清掃会社との折衝。

*報道広告：新聞、テレビ、専門誌、広告塔などあらゆるメディア媒体への宣伝依頼と原稿作成。

*ボランティア担当：日本人会会員と学生のボランティアの手配と当日の受付。

*運搬車両担当：来場者車両300台の駐車場整理と会場へのシャトルバス手配、日本からの演舞者の送迎。

日本人会事務局：秋祭りに関する問い合わせ窓口、お礼状の作成と手配、チケットの準備等々。

その他：協賛企業へのお願い(理事全員)、公園内外の駐車場確保と会場内の警備員手配(青年部)

以上12部門の担当者に加え、好祭會の皆様、日本ゴム旅行協会(JGTA)、日系建設協会(JCI)、日本人学校の先生方と生徒さん、アメリカン・メディカル・センター、アクアマインド社など大勢の皆様にご協力を頂きました。

祭は予定どおり14時に開場し、食品、ドリンク、ゲームなどの各ブースも販売をスタートしました。新設ステージでは、和太鼓、踊り、合唱、南国ソーラン節、国歌斉唱、会長挨拶、津軽三味線、各種神輿、盆踊りとプログラムは順調に進行され、人気司会コンビのハンクさん、ひろ子さんの演出により大いに盛り上げて頂きました。場内では日本各地からの神輿の担ぎ手により勇猛かつきらびやかに2体の神輿が舞い大型スクリーンを配した櫓周りにはローカルの皆様も加わって盆踊りの輪が広がり18時頃には広い会場は祭を楽しむ人々で埋め尽くされました。

各食品ブースでもレストラン自慢の料理を求める人々で長蛇の列となり用意していた25,000の食品が相次ぎ売り切れになるほど大変な盛況でした。終盤には花火が打ち上げられ、21時、39回秋祭りも皆様に惜しまれながら閉場となりました。21時を過ぎても秋祭りの余韻に浸るかのように、多くの方が会場に残っていたのが印象的でした。

秋祭りの入場者数は第38回同様、過去最高との評判で大盛況でした。

日本コミッティはもちろんローカル企業も含め大勢の皆様への絶大なご支援とご協力に感謝を申し上げます。今年の秋祭りは第40回となる記念の年となります、多くの人に喜んで頂けるイベントに成長するこを期待します。

以上、青年部：吉野、野口、古堀 以上3名。